

令和6年8月21日
東京都職員共済組合

責任投資原則（PRI）への署名について

東京都職員共済組合（以下「都共済」という。）は、令和6年8月16日、責任投資原則（Principles for Responsible Investment）の署名機関となりました。

都共済は、投資先及び市場全体の持続的成長が、運用資産の長期的な投資収益の拡大に必要であるとの考え方を踏まえ、組合員の利益のために長期的な収益を確保する観点から、ESG（環境、社会、ガバナンス）を考慮した投資に取り組むことが重要であると考えています。

署名後も引き続き、ESG ファンドへの投資を行うほか、運用受託機関に対して ESG を考慮したエンゲージメント・議決権行使の実施を求め、その実施状況をモニタリングすることなどを通じて、ESG に関する取組を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

Signatory of:



[責任投資原則]

1. 私たちは、投資分析と意思決定のプロセスに ESG の課題を組み込みます
2. 私たちは、活動的な所有者となり所有方針と所有習慣に ESG の課題を組み入れます
3. 私たちは、投資対象の主体に対して ESG の課題について適切な開示を求めます
4. 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います
5. 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します
6. 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します